

□京都市立図書館 令和5年度の重点取組事項

- 1 オンラインサービスの充実にに向けた取組
- 2 府立図書館の見える化の推進
- 3 他機関との連携強化

評価区分	評価の目安
5	着実に実施（効果あり）
4	着実に実施
3	概ね実施
2	進捗が遅れている
1	改善の必要あり
—	事業がないため評価なし

京都府立図書館サービス計画	事業計画 ●は令和5年度以降複数年で実施	重点	令和5年度実績（12月末）	評価	評価コメント
I 府内全域の図書館等をつなぎ、支援するとともに、協力して図書館サービスを展開します					
1 府内の各図書館とのネットワークの充実					
各図書館が所蔵する資料が一括して検索できるとともに、資料の相互貸借を行うことができるK-Libnetシステムの確実な運用を図ります	○K-Libnetシステムの確実な運用の継続		◆K-Libnet参加館 102機関 ▷府立、市町村26、歴彩館、議会、ライトハウス、大学12、高校46、特支12、総合教育センター ◆SE作業（週1回）、定例会（月1回）、課題管理システムを活用し、確実な運用体制を確保 ◆参加館とはK-Libnetのメッセージや掲示板機能を活用し、双方向の情報共有を実施 ◆K-Libnet参加大学（12大学） ▷先端大、京大、京教大、福知山公立大、佛大、府立医大、工織大、府立大、ノ女大、橘大、外大、京女 ◆K-Libnet参加大学との情報交換会 全大学について巡回（オンライン）を実施予定 ◆連絡協力車を週2回運行 ▷運行回数 266回（計画通りの運行）（④278回） ▷相互貸借冊数 44,784冊（③46,081冊）	4	・確実なサービス運用が実施できた。 ・運用上の課題などを双方向で共有し、引き続き確実なサービス運用に努める。
大学図書館が所蔵する図書を府立図書館と身近な市町村立図書館で、府立図書館・市町村立図書館が所蔵する図書を大学図書館で、閲覧することができる取組を推進します。	○K-Libnet参加大学との相互貸借の実施（継続） ○K-Libnet参加大学増加に向けた取組 ○K-Libnet参加大学との情報交換会を予定		◆K-Libnet参加大学（12大学） ▷先端大、京大、京教大、福知山公立大、佛大、府立医大、工織大、府立大、ノ女大、橘大、外大、京女 ◆K-Libnet参加大学との情報交換会 全大学について巡回（オンライン）を実施予定 ◆連絡協力車を週2回運行 ▷運行回数 266回（計画通りの運行）（④278回） ▷相互貸借冊数 44,784冊（③46,081冊）	5	・K-Libnetについての問い合わせが複数あり、協議中である。 ・大学への巡回（オンライン）を実施予定である。
K-Libnet 参加館等へ資料を運ぶ連絡協力車の効率的な運行を図ります。	○連絡協力車の安心安全で効率的な運行（週2回）		◆連絡協力車を週2回運行 ▷運行回数 266回（計画通りの運行）（④278回） ▷相互貸借冊数 44,784冊（③46,081冊）	4	・連絡協力車について計画どおり運行できている。 ・今年度は昨年度比で10%の減便を実施したが、大きな問題なく運行できている。
K-Libnet システムの利便性の向上を図るため、大学・企業等との共同研究の取組を推進します。	○産官学プロジェクトの（書誌データ重複の解消）実装化への取組		◇重複書誌データ除去システムをK-Libnetに組み込むことについて検討	3	・引き続き関係者と協議の上、進める
2 市町村立図書館への支援					
市町村立図書館支援のためのリクエストに応じるなど、資料の充実を図ります。	○収集基準に沿った計画的な貸出文庫の購入 ○リクエスト本の購入（④2,282冊）		◆資料の充実 ▷貸出文庫購入数 1,379冊（④1,706冊） ▷リクエスト資料購入数 94冊（④116冊）	4	・限られた予算の中で、リクエスト本についてはできる限り対応できている。
市町村立図書館のニーズを把握するための会議や巡回訪問を実施します。	○会議及び巡回訪問（オンライン含む）の実施によるニーズの把握		◆ニーズの把握 ▷市町村立図書館長会議開催 4/26 ▷市町村立図書館の職員巡回 9月（訪問）・2月（オンライン） ▷京都市立図書館との相互協力打合せは、市町村巡回と同時に実施	4	・職員訪問等でニーズの把握に努めている。

令和5年度 京都市立図書館事業実績 (12月末)

京都市立図書館サービス計画		事業計画 ●は令和5年度以降複数年度で実施	重点	令和5年度実績 (12月末)	評価	評価コメント
風水害や新型コロナウイルス感染症等の経験を踏まえ、非常時における図書館運営に関する情報の共有や提供等を推進します。	○ホームページ、ツイッターによる積極的な情報の発信		◆台風7号対応 ▷当館の対策についてホームページやX (旧Twitter) に情報を掲載	4	・利用者や職員の安全管理に役立てた	
市町村立図書館のニーズを踏まえた職員が参加しやすい研修(オンラインを含む)を推進します。	○市町村立図書館等職員研修の実施		◆研修実施 ▷図書館・読書施設等相互協力者初任者研修 5/25 (参加者25名 ④31名) ▷レファレンス研修 ①初級 9/8 (参加者30名 ④39名) ②中級 10/11 (参加者17名 ④24名) ※中級は京都学・歴史館で実施	5	・レファレンス研修中級を京都学・歴史館で実施できた。(前回平成29年度) ・参加者からの評価も高く、今後とも継続していきたい。	
K-Libnetシステムを活用し、市町村立図書館のレファレンス機能の充実を図る取組を推進します。	○市町村図書館や学校等からの相談対応 ○電子書籍を活用したレファレンスの実施		◆相談対応 ▷市町村レファレンス回答 28件 (④20件) ▷学校等レファレンス回答 7件 (④7件)	4	・適切な相談対応に努めている。 ・電子書籍の活用が課題である。	
3 学校支援の充実						
児童、生徒の調べ学習や学生の調査研究を積極的に受け入れます。	○調べ学習や調査研究の(積極的な)受け入れ		◆京都外国語大学5/18 17名 京都つくば開成高校5/25 30名 京都産業大学附属中学高等学校5/26 19名 京都文教短期大学付属小学校6/20 26名 京都橘大学7/20 34名 亀岡市教育委員会7/25 6名 乙訓小学校教育研究会図書館教育部7/26 24名 放課後等デイサービス7/27 7名 東京学芸大学図書館学コース10/4 11名 京都SKYシニア大学10/11・11/25 各35名 歴史街道推進協議会10/12 1名 京都市花脊小学校見学 12/6 6名	5	・相手方の意向に沿った内容での見学等の受入を行った。	
調べ学習や読書、図書館の展示等に活用する学校支援セットの充実を図ります。	○学びに沿った学校支援セット内容の見直し		◆学校支援セットの充実 ▷セット内容の改定(YAセット) ▷各学校等へのリーフレットの配布	4	・学校からのニーズを取り入れYAセットの改定を進めている。 ・さらなる利用促進に努める。	
ホームページを活用した学校支援セットの利用促進を図る取組を推進します。	○ホームページ等を活用した電子書籍利用の支援		◆ホームページの学校支援セットのページ ▷「在庫セット数」や「貸出状況」の確認が可能になっていることを研修等で広報	4	・継続して実施	
総合教育センターと連携した研修を実施するなど、学校図書館の運営を支援するための取組を推進します。	○総合教育センターと連携した学校図書館担当者研修の実施		◆学校図書館の運営を支援 ▷総合教育センター主催の学校図書館教育講座 8/25	4	・電子書籍サービスの利用促進を図る。	
大学や企業等と連携して、全ての府立学校の蔵書をインターネットを通じて検索し、相互貸借することができる取組を推進します。	○府立学校長会、府立高等学校図書館協議会への説明を踏まえた取組	3	◆府立高等学校図書館協議会の総会での説明 5/26	4	・府立学校への丁寧な説明に努めている。	

令和5年度 京都市立図書館事業実績 (12月末)

京都市立図書館サービス計画		事業計画 ●は令和5年度以降複数年で実施	重点	令和5年度実績 (12月末)	評価	評価コメント
4 子ども読書活動の支援						
子ども読書の日(4月23日)を記念する事業に取り組めます。	○第12回子ども読書本のしおりコンテストへの協力		◆第12回子ども読書本のしおりコンテスト ▷作品応募数 6,339点(④6,373点) 審査会 9/26 表彰式 11/5 ▷市町村立図書館・読書施設等での巡回展示 37施設(④37施設)	4	・昨年度と同程度の応募があった。 ・昨年度と同様の巡回展を実施中である。 ・子供の読書活動推進に有意義な取組となっている。	
「きょうと子ども食堂」「こどもの居場所」に取り組む団体や「京都市教育委員会認定フリースクール」等の様々な民間団体と連携し、子どもの読書活動に寄与する取組を推進します。	○きょうと子ども食堂・こどもの居場所実施団体への支援の継続 ○府教委認定フリースクールへの支援の継続 ○子どもの読書活動応援事業の実施(6月補正予算要求事項)	3	◆きょうと子ども食堂・こどもの居場所実施団体への貸出 10団体561冊(④10団体681冊) ◆府教委認定フリースクールへの貸出 1団体200冊(④1団体200冊) ◆子ども読書活動応援事業として、電子書籍を4,512点追加提供	4	・子ども食堂やフリースクールへの貸出は現状維持となっている。 ・電子書籍は、小中高校生向けも提供	
市町村立図書館が実施する児童サービス等に関する情報の収集と発信に努めます。	○情報の収集と市町村立図書館間との情報共有		◆ホームページの「府内図書館等の行事一覧」から情報を発信	4	・随時更新を行っている。	
II 多様な文化資源の情報を取り扱い、幅広い調査研究のニーズに応えます						
5 多様な資料の収集・整理・提供						
毎年7万点以上の書籍が発刊される中、収集方針に基づいた多様な資料の収集を図ります。	○収集方針に沿った資料の購入 ○京都府生涯現役クリエイティブセンターとの連携(ビジネス支援)		◆購入冊数合計4,466冊(④4,804冊)	3	・予算減のため、購入冊数はさらに減少。特に高額なレファレンスブックについては、購入を見送っているものも少なくない。	
ビジネス支援等の課題解決や調査研究に役立つ資料の収集を推進します。	○電子書籍等を活用したビジネス支援等の取組の検討		◆日本政策金融公庫との連携 図書の寄贈、連携展示 7/22~8/23、連携講座 5/20、連携相談会11/22	4	・今年度も継続して着実に実施できている	
美術館コーナーを設置するなど配架の工夫を進め、限られた開架スペースの活用を図ります。	○ビジネス支援コーナー等のさらなる活用を検討		◆美術館新着コーナー(11回) No.78~88 ◆「ビジネス×図書館」コーナー(R4.2.設置)の活用をスタート ◆地下閲覧室の旧美術館新着コーナー棚を、美術関係特設コーナーとして展示を試行。(9回)	4	・ビジネス支援コーナーをスタートし、今後さらなる活用を検討する。	
シナリオコレクションなど所蔵している貴重な資料の整備、活用を推進します。	○取材や館内見学会での積極的な発信		◆館内見学会を毎月実施 ◆外部広報媒体との連携 LIVING kyoto WEB JR東海ツアーズWEBサイト NHK「京コトはじめ」	4	・継続して実施	
6 十分な収蔵空間の確保による資料の適正な保存						
保存センターの役割を担う図書館として、書庫環境の充実に向けた取組を推進します。	●書庫問題に関する調査・検討 ○複本の除籍・移管(歴彩館等との調整)		◆書庫問題については内部で検討 ◆複本の除籍等については歴彩館とまだ調整できず	3	・書庫問題については、スケジュール感をもって進める。	
収集した資料の損傷や劣化を防ぐ取組を充実するなど、適切な保存に努めます。	○修繕スタッフの育成・技術の継承(館内での研修開催) ○国立国会図書館主催の修繕研修への参加		◆研修への参加等はできていない。	—		
市町村立図書館と連携して府内1冊所蔵図書の的確な把握と保存に取り組めます。	○府内1冊所蔵図書の把握と移管	3	◆府内1冊所蔵図書の受入 46冊(④0冊) ◆市町村図書館・他機関からの貴重書等の寄贈 191冊(④47冊) 【内訳】議会図書館 50冊 京都学・歴彩館 2冊 南丹市立日吉図書室 9冊 綾部市図書館 5冊 京丹後市立峰山図書館 38冊 桂高校5冊 京大附属図書館 82冊	4	今年度も継続して着実に実施できている	

京都市立図書館サービス計画	事業計画 ●は令和5年度以降複数年で実施	重点	令和5年度実績 (12月末)	評価	評価コメント
7 各種電子サービス等デジタル環境の整備					
国立国会図書館「図書館向けデジタル化資料送信サービス」をはじめ、調査研究に役立つデータベースの充実、活用促進を図ります。	○各電子サービス利用促進のための広報		◆各事業の際のチラシ配布やSNSでの情報発信	4	・動画等も利用したさらなる周知
電子書籍の導入に向けた取組を推進します。	○電子書籍の利用促進のための取組の実施		◆府立学校への専用カード番号の発行37校17,708名分 (通算) (④31校 10,816名分) ◆京都府内の学校において積極的に活用いただけるよう、希望する学校の生徒や教職員に専用カード番号を発行	5	・府立学校への専用カード番号の発行について、適切な運用ができています。 ・京都府内の小中学校への対応に努めた。
閲覧室にWi-Fi環境を整備するなど、調査研究に役立つ取組を推進します。	●システム更新を見据えたWi-Fi環境の拡充を検討		◇次回システム更新時に本格検討	4	・次回システム更新に向けた検討を始めた。
テーマ別資料リストや図書リストのオープンデータでの提供等を推進します。	○ホームページでの積極的な公開		◆所蔵資料の積極的な発信 新刊案内10回、資料紹介10回・記事紹介12回・視聴覚資料紹介1回	4	・随時更新を行っている。
8 所蔵資料紹介・レファレンス業務の充実					
多様な図書に出会える企画展示等の実施、テーマ別資料の作成、ホームページを活用した図書の紹介に努めます。	○電子書籍を含めたテーマ別資料リストの作成 (継続) ○リストの整理と見せ方の工夫 ○動画等を使っでの展示の紹介・アーカイブの検討	2	◆インターンシップ学生による電子書籍ブックリストの作成 ◆館内見学会に併せて電子書籍利用説明を実施 ◆YouTube上に公式チャンネル (https://www.youtube.com/@kyotolib) を開設し、展示 (「プレイバック集書院」) 関連動画2本、DVD上映会関連動画1本をアップ	4	・リストの見せ方について準備中 ・動画の計画的なアップ
国立国会図書館レファレンス協同データベースを活用したレファレンス業務の充実を図ります。	○積極的な登録 (継続) ○レファレンス協同データベースに登録したレファレンスをSNSで発信	2	◆レファレンス協同データベース登録件数 6件 (④6件)	4	・今年度も継続して着実に実施できている
国立国会図書館等が開催するレファレンス研修に積極的に参加し、知識技能の向上を図ります。	○積極的な参加		◆3月に開催されるフォーラムに参加予定。	—	
9 来館者へのサービスの充実					
大学等と連携して、エントランス等における効果的な展示や案内の掲示を推進します。	○年間計画を作成し計画的な展示を実施	3	◆月毎・時事・連続講座関連展示の実施 35回 (1F展示ケース5回、地下特設5回、エントランス展示等との連動企画4回、ミニコーナー18回、連続講座関連3回) (④29件)	4	今年度も継続して着実に実施できている
障害者や外国人等を対象とした図書館案内の充実を図ります。	○外国語図書コーナーの内容を充実させるための定期的な内容の見直し		◆寄贈図書の受入れにあわせて、見直しを実施。	3	
図書館カードによる館内サービスの利便性の向上を図る取組を推進します。	○図書館カードの利用の検討 (IDとして、マイページ以外にも複写の申込みに使えないか等)		◆マイナンバーカードの利用 全登録者数33名 今年度新規5名 (④28名・新規2名)	4	・適切な運用に努めている。
図書の貸出期間の延長等、情報通信機器を活用したサービスの充実を図る取組を推進します。	●先進事例を参考としたキャッシュレスサービスの調査・研究		◆調査研究できていない	—	・具体的な検討には至らず
京都市図書館との相互返却サービスの取組を推進します。	○京都市図書館との「返却本お預かりサービス」の継続実施及び改善点の見直し		◆サービスの利用は増加傾向にあり定着しつつあるが、改善点の見直し等の取組はできていない。	3	
市町村立図書館と連携して返却サービスの利便性の向上を図る取組を推進します。	○各市町村図書館の意見を踏まえた遠隔地返却の検討		◆市町村立図書館等の状況を聴取して引き続き検討	4	・引き続き検討

令和5年度 京都府立図書館事業実績 (12月末)

京都府立図書館サービス計画	事業計画 ●は令和5年度以降複数年で実施	重点	令和5年度実績 (12月末)	評価	評価コメント
1 0 オンラインサービスの充実					
電子書籍をスマートフォン等情報通信機器により利用できる取組を推進します。	○電子書籍及びオーディオブックサービスの充実 ○利用促進に向けた取組の推進 ○府内の希望する小中高校生にIDを付与	1	◆子ども読書活動応援事業として、令和5年12月14日から参加を希望する全ての府内の市町（組合）立、国立、私立の小中高特別支援学校・義務教育学校を対象に、学校を通じて、京都府立図書館の電子書籍等サービスが閲覧できるID及びパスワードを配付している。	5	・令和5年6月補正予算により実施。京都府の全小中高生を対象にIDを付与することで、電子書籍サービスの利用促進が期待できる。
大学等と連携して、価値ある資料のデジタルアーカイブ化の取組を推進します。	○同志社大学との連携によるデジタルアーカイブ公開資料の効果的な活用の検討 ○新たなデジタルアーカイブ化の検討		◆同志社大学・京都府立図書館共同事業 京都府立図書館貴重書コレクションで公開 ▷京都府立図書館ホームページのトップページに関連オープンデータへのリンクアイコンを設置	3	・外部データベースへのアクセスが向上した
電話やインターネット等によるレファレンスサービスや図書の複写サービスの取組を推進します。	○HPでのオンラインサービスの整理・情報提供の充実 ○郵送複写の整理・充実（様式や申込方法の改正） ○著作権法改正（図書館資料のメール送信、令和5年6月施行）への対応準備	1	◆著作権法改正による図書館資料のメール送信サービスは、補償金の支払いにかかる著作権団体の対応について、継続して情報を収集している。	2	・全国的に進捗が遅れている。実施に必要な情報が少なく、全国の実施状況を見極めながら、引き続き情報の取得に努める。
インターネット等による 府立図書館カードの作成や図書の郵送貸出の取組を推進します。	○図書館カード（電子専用ログインID番号）の電子申請の広報強化等による推進 ○図書郵送サービスの継続実施		◆図書の有料送付サービス ▷申込数 25件・発送冊数 65冊 （④申込数 42件・発送冊数 85冊） ◆図書館カードの電子申請を令和5年3月30日から開始 ▷サービス開始からの申込数 399件	5	特に、電子書籍の利用希望者向けの電子申請（ログインID発行希望）が定着しつつある。
1 1 障害者サービス等の充実					
大活字本やデジター図書等の充実を図ります。	○大活字本、デジター図書等の購入 ○市販のオーディオブック等の収集・提供の検討		○大活字 → 年1回の購入のため、12月末では0 ○オーディオブックは、引き続き、エルシエロのオプション機能として提供	3	・デジターに関しては、サビエ・NDLからのダウンロードを活用
対面朗読サービスの充実に努めます。	○個人向けオンライン対面朗読の継続 ○市町村立図書館でのオンライン対面朗読環境整備への協力・助言		◆zoomによる対面朗読（75回 150時間）対面（0回） ◆京図連協研修でのオンライン対面朗読の状況及びニーズ調査	4	・必要な方が必要な時に府内どこでも利用できる環境の整備
サビエ図書館が所蔵する点字図書や録音図書に関する書誌データベース（約70万点）を活用し、視覚障害者等を支援する取組を推進します。	○利用者が直接サビエ等を利用できるような支援		◆サビエ/国会図書館データの利用 音声資料等貸出数221タイトル （当館所蔵17タイトル、他館借受資料204タイトル） 貸出先内訳：当館利用者145 府内図書館等64 府外12 借受先内訳：サビエ経由166 国会図書館38（デジター38/ 電子書籍（txt/Epub形式）0）	4	・京都府のバリアフリー推進計画の策定に伴い、計画に基づいた事業の推進を図る
国立国会図書館が所蔵する学術文献録音図書DAISYデータや視覚障害者等用データ（音声DAISYデータ、点字データ等）を活用し、視覚障害者等を支援する取組を推進します。	○市町村図書館を経由した障害者用資料提供のさらなる充実や研修の実施 ○読書バリアフリー推進計画策定に向けた取組		◆南図協研修（2月16日） 「京都府立図書館の障害者サービスについて」 ◆「京都府障害者・障害児総合計画（中間案）」の読書バリアフリー推進計画部分の策定に参画		

令和5年度 京都府立図書館事業実績（12月末）

京都府立図書館サービス計画		事業計画 ●は令和5年度以降複数年で実施	重点	令和5年度実績（12月末）	評価	評価コメント
京都ライトハウス情報ステーション や近隣文化施設と連携して、共生社会を目指す取組を推進します。	○「CONNECT⇄」(昨年度まで文化庁主催事業)の後継事業や関連団体等との共同事業の実施		3	◆今年度も継続された「CONNECT⇄」に参加 ・集書院150年記念「プレイバック集書院」(来場者1,797名) ・ワークショップ「はじめての朗読会～声を出して～」(参加者12名) ・ワークショップ「羊皮紙に描く！」(参加者16名)	5	・岡崎の7会場で開催された「アートを通して多様性や共生社会を考えるプロジェクト」に参加し、多くの方に来館いただいた。
1.2 職員の資質・能力の向上						
文部科学省、国立国会図書館、大学等様々な機関が主催する研修・研究会等（オンラインを含む）への積極的な参加に努めます。	○研修計画に基づく積極的な参加 ○市町村向けの研修内容の館内での共有			◆京図連協研修 12/13 12/14 2/2 ◆国立国会図書館講師派遣型研修 10/4	5	・可能な限り積極的に参加できた。 ・国立国会図書館講師派遣型研修を実施できた。
大学や市町村立図書館の要請に応じた研修の講師を務めるなどの取組を推進します。	○集合研修の実施（オンライン含む） ○ニーズを踏まえた出前研修の充実			◆出前研修の実施 ▷本の修繕 伊根の杜 10/25 (参加者6名) 与謝野町立図書館 11/30 (参加者13名) ▷業務入門 南丹市役所 8/22 (参加者8名) ◆南図協研修 2/16 (参加者12名)	4	・計画どおり実施見込。 ・おおむね好評を得ている。
様々な機関と連携したタイムリーな研修を実施します。	○文化財、防災、人権、接客研修の実施 ○他機関と連携した計画的な研修の実施		3	◆みやこめっせ職員との合同研修（人権研修）5/25 ◆文化財フィールドワーク研修（頂妙寺見学）1/31	4	・新たにみやこめっせ職員との合同研修を実施できた。
III 大学等研究機関や文化施設等と連携するとともに、多様な議論の場を提供することにより、文化の振興と地域の活性化に寄与します						
1.3 「知的な交流の場」の活用						
大学や企業等と連携した展示を行うことにより、多様な人が互いに学び合う取組を推進します。	○大学や企業との連携展示の実施 (京都大学総合博物館、京都外国語大学附属図書館など)			◆京都外国語大学との連携稀観書展示会 「昔話はCrepeにのせてーちりめん本の世界ー」5/2～5/24 ◆京都府埋蔵文化財調査研究センターとの連携展示 「天平の都・恭仁宮と古代寺院・井手寺ー恭仁宮跡発掘調査50周年記念ー」2/2～3/14	4	・今年度も継続して着実に実施できている
ナレッジベースの特長を活かし、NPO等民間団体と協働した取組を推進します。	●サービスデザインチームによるNPO等民間団体や大学との連携事業の実施			◆京都SKYセンターシニア大学講座の開催 10/11、11/25	5	・京都府立図書館の取組を紹介できた。追加講座の依頼あり。
NPO等民間団体が行う企画を府立図書館の資料やデータベースを活用して支援する取組を推進します。				◆「ウィキペディアにヤウンvol.6 in丹後峰山」(こまねこまつり実行委員会)に協力(9/7)	3	
大学と連携し、大学生による「図書館応援チーム(仮称)」が企画・実施する取組を推進します。	○当館におけるインターンシップ生(京女)、図書館実習生(同志社)、キャリア演習インターンシップ型(府立大)との意見交換など、大学生との交流の実施 ○大学のカリキュラムとしての演習、図書館実習、インターンシップ等の受け入れ(継続) ●大学生が主催・運営するイベントの受け入れ		3	◆キャリア教育インターンシップ(京都府立大学)9名受入れ(R5.6～R5.9) ◆インターンシップ生(京都女子大学)8名が活動(R5.6～R5.3) ◆図書館実習生(同志社大学・京都女子大学)4名受入れ(R5.10.19 R5.11.7～10)	4	・各校が図書館で学ばせたい内容を把握、理解し、それぞれのプログラムで学生を受入れている。

令和5年度 京都市立図書館事業実績 (12月末)

京都市立図書館サービス計画	事業計画 ●は令和5年度以降複数年で実施	重点	令和5年度実績 (12月末)	評価	評価コメント
1 4 府立図書館の見える化の推進					
ホームページやSNS等を活用した効果的な情報発信を図ります。	○Twitterでの発信数300超、フォロワー数1,800超え ○効果的な情報発信		◆ホームページ128回更新 X (旧Twitter) 270回投稿 X (旧Twitter) フォロワー数1524 (今年度増加172)	3	・効果的なSNSの利活用に継続して取り組んでいる。
京都府の広報媒体の活用、報道機関への効果的な広報を推進します。	○府の広報紙の活用 ○取材の積極的な受け入れ		◆府の記者クラブへの広報資料の提供 ◆新聞社への取材依頼	4	・新聞記事掲載の実績もあり、効果あり。
館内見学会の実施や旧館家具等を活用した歴史ある図書館を発信する取組を推進します。	○館内見学会の定期的な実施 ○3階家具コーナーを含めた歴史的建造物の広報 ●集書院150年企画の実施	2	◆毎月第3水曜日に館内見学会を実施	5	・館内見学会を毎月実施することができた。終了後のアンケートでも高評価。
公益財団法人 大学コンソーシアム 京都 と連携し、大学生を対象とした広報を推進します。	○公益財団法人大学コンソーシアム京都と連携した府内大学への告知 (案内資料送付等)		◆京都学生祭典と連携した展示を開催 10/8	5	・京都学生祭典10周年を記念して、初めて連携した展示を実施できた。
利用案内や調べ方案内のオープンデータでの提供を推進します。	○オープンデータの作成と提供 (京都府オープンデータポータルサイトの活用)		◆京都府立図書館ホームページのトップページに関連オープンデータへのリンクアイコンを設置	3	
1 5 各種セミナー等の実施					
大学等様々な機関と連携した講座やセミナーの開催を推進します。		3	◆日本政策金融公庫 連携講座 5/20、11/22 ◆府立図書館講演会 5回 (詳細は下記のとおり)	4	・今年度も継続して着実に実施できている
図書館の持つ機能を生かした講座やセミナーに関連する 図書の展示、 図書リストの作成等を推進します。	○大学等と連携した講演会の実施 ○大学等と連携した展示の実施 ○講演会や展示に関連した図書リストの作成・公開 ○京都SKYセンターと連携し同センターシニア大学講座を開催		◆府立図書館講演会 ①桃太郎のシンデレラ・ストーリー? 特異なヒーローの誕生 (京都外国語大学付属図書館 樋口 稜館長) 5/21 44名 ②大正4年 (1915年) 春の京都市立図書館、「泰西美術展覧会」から始まったもの ―ブレイク、『白樺』、国画創作協会、『制作』― (京都岡崎魅力づくり推進協議会 潮江 宏三代表) 9/30 47名 ③文化・観光―都市の背景 (京都国立博物館名誉館長・京都府教育委員会参与・京都府立丹後郷土資料館名誉館長 佐々木 丞平氏) 10/21 48名 ④天平の都・恭仁宮と南山城の古代寺院 (京都府埋蔵文化財調査研究センター 福山 博章氏) 2/10 73名 ⑤みんなのがん教室 (がん哲学外来シャチホコ記念 彦田 かな子代表) 3/10	4	・今年度も継続して着実に実施できている。アンケート結果も概ね好評。
京都府高等学校文化連盟と連携を図り、高校生が前庭等を活用して発表する取組を推進します。	○京都府高等学校文化連盟と連携した府立学校文化部の発表機会の提供	3	◆今年度未実施	—	

令和5年度 京都市立図書館事業実績（12月末）

京都市立図書館サービス計画	事業計画 ●は令和5年度以降複数年で実施	重点	令和5年度実績（12月末）	評価	評価コメント
1 6 大学等研究機関、文化施設等と連携した取組の推進					
岡崎エリアの文化施設等と連携して、展示や図書リストの作成等に取り組みます。	○近隣文化施設との連携強化 ○岡崎エリア施設の催しや展覧会をチェックし、可能な限り関連展示を実施・依頼に対応	3	◆岡崎手帖（岡崎を楽しむハンドブック）の発行協力 ◆月1回開催される、岡崎連絡会、京都岡崎魅力づくり推進協議会に参加	4	・岡崎の文化施設同士が連携を図ることで岡崎全体を盛り上げる機運の醸成につながった。
岡崎エリアの文化施設等と連携して、様々な企画や事業の推進を図ります。	○岡崎魅力づくり推進協議会での連携事業の実施		◆関連展覧会等のチラシ・案内を配架	4	・継続して実施
博物館・美術館・大学等と連携し、図書館の資料を活用した取組を推進します。	○府内の大学や研究施設等と連携した展示 ○京都大学総合博物館や府内大学等と連携した取組 ○京都SKYセンターと連携した取組 ○京都学生祭典と連携した取組		◆京都外国語大学図書館との連携展示や講演の開催 ◆京都SKYシニア大学講座の開催 ◆京都学生祭典コラボ展示の実施	4	・継続して実施
1 7 行政機関と連携した取組の推進					
京都府議会図書館と連携して、府庁等行政機関の要請に応える図書の貸出等の取組を推進します。	○電子書籍の積極的な活用 ●議会図書館支援、行政支援の充実を図るための検討	3	◆府庁への資料の配送 ▷議会図書館 541冊（④432冊）（K-Lib分）	4	・さらなる利便性向上について、議会図書館からのニーズの聴取に取組む。
府庁等行政機関からの要請に応じたレファレンスサービスの取組を推進します。	○電子書籍の積極的な活用 ○レファレンス申し込み・回答方法の検討 ●議会図書館支援、行政支援の充実を図るための検討 ●本庁各課が施策実施に当たり法令による行政の原理に資するため、必要な判例等の調査をデータベース等により援助		◆議会図書館からの資料複写希望等に対応。 ◆K-Libnetシステムにより議会図書館職員が電子書籍閲覧できる環境を整備済み。	4	・さらなる議会図書館支援等について検討を継続
京都府家庭支援総合センター等行政機関との連携を図り、図書の貸出等の取組を推進します。	○京都府家庭支援総合センターへの貸出の継続 ○他の行政機関との連携	3	◆京都府家庭支援総合センターへの貸出 200冊	4	・継続して実施